

小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

平成30年1月15日(月) No.37

後期後半がスタート！！

年明けから二週間が過ぎましたが、保護者の皆様、改めまして、明けましておめでとうございます。角館中学校教職員一同、本年もよろしくお願いいたします。

角館中学校は今日後期後半がスタートし、冬休み明け集会が行われました。集会では、こんな話をしました。

新しい年が始まって2週間が過ぎましたが、改めて、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、冬休み前集会で、一年の初めには、少し長いスパンで1年後、2年後の自分をイメージして、成りたい自分に近づくために決意をしてみようという話をしました。元旦にした決意は、行動に結び付けることでより強い意志につながり、それが習慣になることで自分を変えていくことにつながります。今日から、決意を行動にし、行動を習慣にしていきましょう。

今年、大きなスポーツイベントがある年です。2月9日から25日まで、7競技102種目で行われるピョンチンオリンピックもその一つですし、6月14日から7月15日にかけて行われるサッカーのロシアワールドカップも楽しみなイベント一つです。世界最高のアスリートの姿は見る人を感動させますし、参加選手の残す言葉も人の心を揺さぶるものがあります。今年はその意味で、楽しみの多い年になりそうです。

もう少し短いスパンで考えると、今日から始まった後期後半は、1～2年生の登校日が47日、3年生は40日というとても短い期間です。この期間に年度のまとめを行い、卒業・進学、進級の準備をすることとなります。一日の重みが増す時期です。一日を大切にしていきましょう。

前期のクライマックスは「すすかけ祭」でした。後期の、そして平成29年度のクライマックスは卒業式です。チーム角中の力を結集して、すばらしい卒業式にしましょう。今年も、自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校を目指して、共に頑張っていきましょう。

おめでとう！ 最近の生徒の活躍から

■第13回IPA(独立行政法人情報処理推進機構)
「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール2017
標語部門入賞

★優秀賞(秋田県警察本部生活安全部)
2年B組 O. さん
「一文字で 関係消滅！！ 戻れない」

★優秀賞(一般社団法人秋田県情報産業協会)
2年A組 S. さん
「メッセージ ハートを使った 心遣い」

■1月6日(土)
第25回 WHITE CUP 新潟(全国中学校交歓)バスケットボール大会
★第6位 女子バスケットボール部
★優秀選手賞 T. さん



■1月11日(木)～14日(日)
2年C組の鎌田匠人さんが、第61回秋田県中学校スキー大会で、男子回転競技で第6位、大回転競技で第8位入賞という見事な成績を収めました。



おめでとうございます。
K. さんは、1月29日(月)から山形県蔵王温泉スキー場で開催される東北大会と、2月8日(木)から花輪スキー場で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

イタヤ細工に挑戦しました

1月10日(水)～11日(木)の二日間、美術部員がイタヤ細工に挑戦しました。

講師にお招きしたのは、伝統工芸イタヤ細工「角館イタヤ工芸」のS.さんと、H.さんです。青柳家で実演販売も行っている方の丁寧なご指導をいただき、素晴らしい作品を仕上げることができました。郷土の伝統工芸の美しさと実用性、素材のもつあたたかさを感じながら、豊かな時間を過ごしました。



角中生代表の感想と決意が紹介されました

11月9日に本校を会場に行われた「子ども人権デーの集い in 角館中」をテーマにして、12月20日に秋田県子ども人権委員会から発行された「秋田県子どもの人権だより」に角中生代表の感想も紹介されました。子ども人権デーの会場校として優秀作品の発表に触れて感じたことや、人権についての自分なりの考えが紹介されます。いずれの文章にも、今回の経験を生かし、日常生活の中で思いやりや感謝の心をもって行動していきたいという決意がありました。



人権デーから学んだこと
角館中生徒会長 三年 N.

私は、八名の発表を聞きとても感動しました。その中でも高橋悠宇さんの「ありがと」が心に残りました。彼は難聴でした。最初かわいそうと思いました。ですが彼の人への感謝を忘れない姿勢や自分も誰かのことを助けたいというのを聞き、本当にすごい人だと思いました。私もこれから感謝を忘れず誰かを助けながら生きる人になりたいです。



人権の意味
角館中 一年 S.

私は、人権という意味をあまりよく知らずにいました。人権とは「一人が生きる上での権利」というふうに捉えていました。しかし今回の集いで、人権とは「人権を越えてみんな平等」という意味もあるのだということが分かりました。
これからは、思いやり・助け合いの心を持って人と接していきたいです。



人としてあるべき姿
角館中 二年 S.

私は発表を聞き共通している事は「理解する」「認め合う」「向き合う」という事だと思いました。この三つの言葉の意味を自分なりに考え、どんな人でも一人の人間として接する事ができるような人になりたいです。自分の行動をふり返り、これから自分がどうあるべきかを考え、人のために行動していきたいです。



人権の大切さ
角館中 三年 S.

受賞者の発表を聞いて、人権に対する考え方は、人それぞれ接し方によって色々な形がある事を改めて感じました。身近な人だったり、他人だったり、いつもどのような場面でも自分が同じ立場になるのかわかりません。だから、普段から少しでも人権の大切さを考えてみようと思います。今回の貴重な体験を今後の人生に生かしていきたいです。